

サ シ ゴ ジ ュ

Viburnum awabuki

種名



分類	常緑小高木～高木 スイカズラ科ガマズミ属	俗称		別名	
分布	本州、四国、九州、沖縄、朝鮮南部、台湾				
形態	高さは普通5～6m。大きいものは15mにもなる。枝は灰褐色。髄も灰褐色。葉は対生し、長さ8～20cm の長楕円形。質は厚く、表面は光沢がある。6～7月、枝先に大形の円錐花序をだして、白い花を多数つける。核果は長さ7～8mmの楕円形で、赤色から藍黒色に熟す。				
類似種					
生育場所	沿海地の山地に自生。				
繁殖					
他生物との関係					
配慮のポイント					
トピック					
その他					
用途	庭木、公園・街路・防風・防火樹、器具材				
引用文献：『山溪カラー名鑑 日本の樹木』を改変					